

令和7年地域医療連携懇談会アンケート結果記録

令和7年11月8日(土) 15:00-17:00

講演テーマ: ベイシエントハラスメント 講師: 須藤 隆二、武 ユカリ

講座参加者(人)

70

アンケート回答者(人)

13

回答率

18.6%

No	質問	項目	数
問1	職種を教えてください	医師(病院)	0
		医師(クリニック、医院)	1
		看護師(病院)	4
		看護師(在宅)	0
		薬剤師	1
		コメディカル	1
		事務	4
		その他	2
問2	今回の講座を何でお知りになりましたか?(複数回答可)	案内文	12
		三師会からの周知	0
		病院協会から会員への周知	0
		院内(掲示板・グループウェア)	1
		その他	1
問3	講演者の説明は分かりやすかったですか?	非常にわかりやすかった	7
		わかりやすかった	6
		普通	0
		わかりにくい	0
問4	パネリストの方々の議論は有益でしたか	非常に満足	8
		やや満足	5
		どちらともいえない	0
		あまり満足できなかった	0
		満足できなかった	0
問5	今回の講演会について、ご満足いただけましたか?	非常に満足	10
		やや満足	3
		どちらともいえない	0
		あまり満足できなかった	0
問6	今後どのようなテーマの講演会や研修に参加したいですか?	具体的なテーマは分かりませんが、多職種で問題意識を共有できるテーマは活気が出て熱が入ります。	
		同じ内容でもっと事例に対しての具体的対応策を教えてください。	
		続編をお願いいたします。	
		訪問看護師です。武先生も元々は訪問看護師とのことで、とても大きく頷ける内容ばかりでした。困難事例を対応していくのも地域貢献の一つと思っていますが、実際のこれまでの事例と対応策を事例発表としてお聞きしたいです。訪問介護、訪問看護ともに自社へ取り組む学びへと繋げたいです。	
		ハラスメントの深掘りしていただきたい。市立ひらかた病院での事例も知りたいです。	
		病院と診療所の連携が非常に上手くいっている病院、自治体などの講演大変勉強になりました。今回のようにどの現場でも共通課題がテーマの場合は、グループディスカッションがあったらより他領域への理解や課題認識も深まると感じました。	
問7	その他、ご意見があればお聞かせください	お二方の講師のお話を聞くと、少し希望を感じました。須藤先生の仰るように、カスハラという言葉や概念が世の中に醸成されて、不当なハラスメントにノーと言える社会に早くなれば良いなと思いました。	
		皆さんが提出された事前アンケートにどのような具体的事例があったのか、全てとは言いませんが共有していただきたかった。下肢リンパ浮腫を抱えているため、この椅子での長時間の座席は辛く、出来れば1時間で休憩を設けてもらえるとう有難いです。	

No	質問	項目	数
		<p>本日はとても身近で学びの多いお話をありがとうございました。施設に入所されている利用者で、若手のスタッフや新しいスタッフに対して威圧的で大声を出したり、顔を真っ赤にして怒鳴りつけたりと、スタッフが泣いて離職に繋がっており苦慮しています。</p> <p>ケアマネや市の担当者に何度も相談していますが、具体的な対策は出ないままです。スタッフには記録をありのままに残すよう徹底させ、主治医に相談もしています。施設長や管理者から本人へ話をし、施設長や管理者の前ではペイハラ行為は減りましたが、若手のスタッフや入職したばかりのスタッフにはペイハラ行為が見られています。</p> <p>若手のスタッフを育成していくことは会社にとっても要ともなっており、病院のように「早期退院」ということもできず、経済的な事情で引越しもできない。このような事例の対応法等、今回のようなセミナーや研修を通してご教授いただきたいです。</p> <p>ありがとうございました。大変勉強になりました。</p> <p>この度は大変お世話になりました。当職は院内でペイシェントハラスメントの窓口として実務を担当しております。自身の対応については、概ね講師の先生方からのお話の通りですが、その対応の根拠についてより深く理解することができました。</p>	